

特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

2019（令和元）年度事業報告及び決算

2019年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

1-1 住民活動支援窓口の開設（自主事業）

事業区分：自主事業

実施期間：2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

内 容：村上地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）窓口の開設。

【実施概要】 道の駅・朝日みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【実 績】 1年間の利用件数は586件（前年比11件減）、利用者数661人（同319人減）であった。
※過去との比較のため旧事業年度（4月～翌年3月）で集計・比較

【所 見】 利用件数は微減だったものの、利用者数は大幅減となった。
そもそも、ICTの普及によって対面相談／来訪による情報収集は年々減少傾向である。WEBページやSNS等で情報を知り、相談・問い合わせもメール・SNS・電話での行われるケースが急増している。メール・SNS・電話での対応件数の集計を行っておらず明確なデータはないものの、相当数の相談・問い合わせをこれらの手段で受けている。
相談窓口を開設する形式での支援については、そのニーズは決してゼロになることは無いものの、今後増加する見込みはかなり低いと思われる。

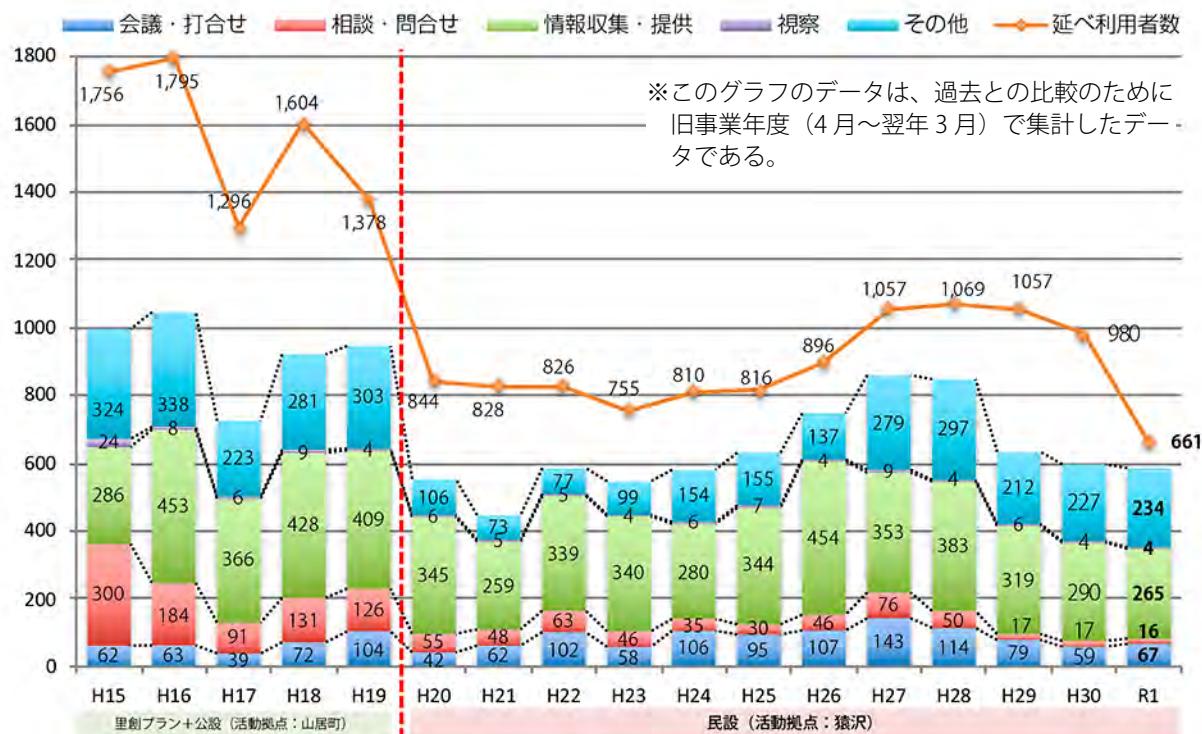


図 都岐沙羅パートナーズセンター利用件数・人数の推移

1-2 街なか拠点の運営協力（自主事業）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

【実施概要】 （株）富樫工務所との協働により、村上市鍛冶町にあるモデルハウス「木くばりの家」を、市民団体が気軽に利用できる活動スペースとして提供する仕組みを構築。

両者の間で「賃借料は無償」「光熱費は実費負担」「（株）富樫工務所の業務（モデルハウスの見学）に支障が無ければいつでも使用可（原則8～21時）」「住民活動支援及び各種イベントでの利用」という内容で協定を締結。利用の受付・鍵の管理は、都岐沙羅パートナーズセンターが担当。

【実績】

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数（人）	817	1,874	1,875	1,887	1,723	1,140
利用団体数（団体）	6	15	11	18	26	36
利用回数（回）	67	130	119	130	180	139
利用目的別回数 コミュニティースペース	19	37	36	29	27	5
各種教室	12	22	29	27	84	42
イベント開催	7	36	34	37	46	48
会議	4	12	16	33	12	1
サークルでの活用	2	7	1	3	1	1
視察対応	2	0	2	1	0	0
その他	21	16	1	0	10	42

【所見】 利用団体数は増加したものの、利用者数は大幅に減少した。これは少人数での利用が多くなったためである。

利用件数も前年より減少した。この要因は、

①おしゃべり cafe が前年度で開催終了となったこと

②新型コロナウイルスの影響による利用自粛

などが考えられる。



1-3 事務支援事業（自主事業）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

【事業概要】 村上地域内で活動する市民団体の事務作業の代行。（有償で受託）

【実績】 会計事務代行：1団体（村上ohanaネット）

【所見】 市民団体側からの要望を受けて今年度より開始。NPO・市民団体の健全な運営を支援する取り組みの一環として、求めに応じて隨時対応していく予定。

2. コミュニティビジネス支援

2019年度は、特に実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

3-1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（事業協力）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担当。

（内容） 総会等の運営、協議会の事務・経理作業
朝日グリーン・ツーリズム推進施設の管理

3-2 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（事業協力）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の2019年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを地域おこし協力隊（植田徹氏）と共に担当。

【実施期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

【実施概要】 体験受け入れの研修会等の開催、首都圏から村上地域へ誘客をはかるため首都圏でのイベントを定期的に開催、インバウンドのモニターツアーを開催。

地域での体験研修	：2回
ツアー組立等研修会	：2回
首都圏PRイベント	：5回
地域内での誘客イベント	：1回
ツーリズム受け入れ	：5回（うちインバウンド1回）



【所見】 今年度は専門学校・県立大からのツアー受け入れが 153 名あった。特に専門学校については、2 日間でのべ 88 名を受け入れたが、大きな問題もなく対応できた。今後も受け入れ体制を整え、継続的に体験旅行受け入れ数を増やしていきたい。

また、首都圏での新たな連携団体が 1 団体増えたことから、今後、首都圏からのツアーへつなげていきたい。

3-3 朝日まほろば夢農園管理事業 (委託事業: 村上市/朝日まほろば夢農園管理組合)

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園（クラインガルテン）について、その管理運営を支援。

【実施期間】 2019（令和元）年 7 月～ 2020（令和 2）年 6 月

【実施概要】 ①農園の利用者及び組合員への広報業務

→夢農園プレス（11 回発行）／ホームページの更新

②農園利用者及び組合員の交流企画

→年 3 回の交流イベントを企画・コーディネート

納涼祭（7 月）／収穫祭（11 月）／開園式（4 月）

③栽培講習会の開催

→年 1 回の講習会の企画・コーディネート（4 月：春栽培講習会）

④夢農園事務局業務（窓口・経理・イベント業務）

【実績】 夢農園年間利用者数：のべ 536 人

交流イベント参加者数：のべ 76 人

【所見】 スタートから 10 年が経過し、地域・社会の状況を踏まえながら、事業のあり方をマイナーチェンジ。これまで都市農村交流のみを目的としてきたが、今年度から「農福連携における活用」という目的も追加し、地域内の企業（保養施設としての活用）・障がい者施設・市内在住の高齢者へも利用の門戸を広げた。これにより年間利用者数は前年よりも増加している。



4. 地域づくり事業のコーディネート

4-1 学校と地域を結ぶオープンセッション・企画運営 (事業協力: 村上市教育委員会)

【事業期間】 2019 (令和元) 年 7 月～9 月

【実施概要】 子供たちに郷土への愛着と誇りをはぐくみ、生きる力を育成していくために、学校、行政、地域の関係者が一同に集まり緊密な関係をつくり、「地域の子供達を地域のみんなで育てる教育活動の推進」の具体的な取組や活動を考える場を企画・実施。

開催日 令和元年 8 月 6 日 (火)

会 場 村上市総合文化会館・全館

内 容 ①子ども遊びの広場: 小学生向け体験コーナー (午前)
②講演会及び学校関係者と地域団体との意見・情報交換会 (午後)

【実 績】 ①子ども遊びの広場参加者: 75 名 (小学生)

②オープンセッション参加者: 117 名

教職員 31 名／地域コーディネーター+行政職員 65 名／地域団体 19 団体(21 名)

【所 見】 子供の遊びの広場は 75 名の参加があったが、スタッフ体制を考えると、これ以上の受け入れは困難である。今後、事業企画・開催方法の再構築が必要である。

14 回目を迎えるオープンセッションは、令和 2 年度から村上市全校で実施されるコミュニティスクールのあり方をテーマにした講演会を開催し、その後のワークショップで「今後の郷育の方向性」について意見交換を行った。情報交換会には新たな参加団体も加わり、大変盛況であった。教職員の転勤、コミュニティスクールが開始されたことを踏まえ、今後も継続実施が必要である。



4-2 WOOD JOB 青少年森の仕事体験ツアー・企画運営 (委託事業: 新潟北部地域林業振興協議会)

【事業期間】 2019 (令和元) 年 7 月～9 月 / 2020 (令和 2) 年 4 月～6 月

【実施概要】 林業に関心を持ってもらい、林業の就業者を増やすため、高校生・大学生を対象とした 1 泊 2 日林業体験合宿を実施。

開催日時 令和元年 8 月 7 日 (水)～8 日 (木)

内 容 森林に関する講義や間伐体験、高性能林業機械体験、製材工場見学等、普段目にする機会のない現場で林業を体感してもらえるプログラムを実施。

【実績】 参加者 10 名（女性 7 名、男性 3 名）

【所見】 6 回目の開催となったが、今回は女性の参加者の割合が多く、林業の現場も機械化が進み、女性も活躍できる職場になっている。女性の進出も望まれており、林業が職業選択肢の一つとなるよう、こうした取り組みを継続していくことが必要である。



4-3 村上市いわふね林業塾・企画運営（委託事業：村上市／新潟北部地域林業振興協議会）

【実施期間】 2019（令和元）年 7 月～ 12 月

【事業概要】 林業の魅力を体感してもらうために川上から川下までの林業を伝えると共に、林業や木材、森林と関わるライフスタイルを提案するための体験プログラムを企画・実施。

【実績】 令和元年 10 月 19 日（土） 8 家族・22 名参加

【所見】 林業の現場での作業体験、木工体験など、実際に木に触れながら林業について学ぶプログラムを実施。村上市内の家族が多数参加し、子どもたちが林業について楽しく学べる機会となった。森、林業へ興味を持ってもらえる機会を今後も継続して設けていくことが大切である。



4-4 地域人材育成業務（委託事業：村上市（自治振興課））

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年3月

【実施概要】 ①村上市内17まちづくり協議会の平成30年度の活動状況を分析し、レポートを作成。

②まちづくり協議会を対象にした地域づくりに関する講座及び研修会等の実施。

【実績】 ①平成30年度の各まちづくり協議会活動を整理・分析し、レポートを作成。

②まちづくり協議会を担当している市職員（自治振興課・各支所自治振興室等）を対象にした研修会をR2年3月に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となってしまった。

そこで、研修参加予定者を対象に「地域まちづくり組織の今後のあり方に関する意向調査」を実施。

a 地域まちづくり組織支援の施策のアセスメント

b 地域まちづくり組織が取り組む事業や運営体制に関する理想と現状の2つを可視化し、今後の検討材料となるレポートを作成した。

【所見】 村上市内17のまちづくり協議会は、設立から8年が経過しているものの、市の支援制度はほとんどアップデートされていない。（市民協働のまちづくり指針は全く更新されていない）地域・社会の状況は設立時からかなり変化しており、各まちづくり協議会が次のステージに円滑にレベルアップするよう、支援制度の更新は急務である。

4-5 あさひ互近所ささえ～る隊コーディネート業務（委託事業：村上市（朝日支所））

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

【事業概要】 あさひ互近所ささえ～る隊・隊長（第2層生活支援コーディネーター）として、

①各種会議への出席

②朝日地区における支えあいのネットワーク・仕組みづくり

③ささえあいの機運を高め、活動を促すための各種事業のコーディネートを実施。

【実績】 計26回の会議出席・出前講座や座談会コーディネートを実施。



【所見】 あさひ互近所ささえ～る隊と朝日地区5つのまちづくり協議会との連携をより深化させ、福祉分野だけに留まらない「ささえあいの仕組み・体制」の構築をめざし、各種事業のコーディネートを実施。出前講座や集落座談会などを通じて、着実に住民同士でのささえあいが必要であるとの認識は向上しつつある。

今後は、朝日地区特有の地域課題（例：移送支援）に対して、「多様な主体が協働して具体的なアクションを起こすこと」「持続可能な仕組みにしていくこと」に主眼を置いて活動を展開していく予定。

4-6 住民アンケート集計分析業務（委託事業：関川村、上平地域自治振興会（富山県南砺市）、他）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年3月

【事業概要】 住民アンケート調査における集計・分析等の業務。

【実績】 ①調査票作成支援・データ入力・集計分析・レポート作成・報告会説明
→富山県南砺市・上平地域／関川村・四ヶ字地区
②過年度に実施した結果の分析レポート・ダイジェスト版を作成
→関川村・川北地区／女川地区
③移動支援に関するアンケート調査についての分析
→やろでば会／関川村社会福祉協議会

【所見】 全国各地で住民アンケートの実施が広がっている中、次の展開につながる効果的な集計・分析ができる機関・団体はあまり多くない。県外からの問い合わせ・相談が何件も寄せられていることから、今後も可能な限り対応していきたい。



4-7 関川村空き家対策計画策定に向けた調査支援業務（委託事業：関川村）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年3月

【実施概要】 関川村空き家対策計画策定に向けて、村内の空き家等の実態把握として以下の3つを実施。

- ① H28年度以降の空き家等の増減状況の調査
- ②空き家等所有者意向調査の集計・分析
- ③計画策定に向けた意見交換の企画・運営・記録

【所見】 年々増加している空き家について、その増加状況や所有者の意向・ニーズの可視化を行った。さまざまな要素が複雑に絡み合うだけに、有効な対策がなかなか講じづらい実態が浮かびあがっている。こうした領域について、中間支援組織としてどのような支援が可能なのか、今後、検討していくことが必要だと実感した。

4-8 地域の合意形成促進事業コーディネート業務 (委託事業: 新潟県(地域政策課))

【実施期間】 2019(令和元)年7月～2020(令和2)年3月

【実施概要】 地域の実情・課題に応じた「住民同士の話し合いの場づくり」に対し、県予算で専門家を派遣する「地域の合意形成促進事業」。県からの派遣依頼を受け、2地区のコーディネートを担当。

【実績】 ①柏崎市高柳町山中集落
②南魚沼市大倉区

【所見】 両地区とも3回ずつの話し合いを実施し、これから地域での取り組みについて話し合う場として、R2年3月に4回目を開催を予定したが、新型コロナウィルスの影響で延期・中止となってしまった。



4-9 地域づくり実践塾 OJT研修 (委託事業: 新潟県(地域政策課))

【実施期間】 2019(令和元)年7月～2020(令和2)年3月

【実施概要】 南魚沼市大倉区での取り組みを題材に、住民アンケート実施から住民同士の話し合いの場の設け方・ポイントを伝える研修をOJT形式で実施。

【実績】 集合研修2回／実際の話し合いの場への参画2回／研修生2名

【所見】 住民アンケートの集計データを題材に、住民にどのような「問い合わせ」を投げかけ、話し合いを促進させるかの研修をOJT形式で実施。立てた「問い合わせ」が正しさよりも、住民同士の話し合いをより深める「きっかけ」を提供することの重要性を認識してもらった。



4-9 新潟県地域づくりセミナー・企画運営（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 2019（令和元）年 8月～12月

【実施概要】 県内の市町村及び地域づくり団体関係者が一堂に会し、先進事例に関する講演と参加者同士での意見交換を実施。セミナーの企画立案・当日進行並びに各種調整・事務を実施。

【実績】 開催日：令和元年 11月 25日（月）13:30～17:00

会場：小千谷市総合産業会館サンプラザ・大ホール

参加者：162名

【所見】 地域づくりに意欲的な市町村を後押しする意味合いから、県庁所在地の新潟市ではなく小千谷市で開催したところ、地元自治体から全面的かつ多大なる協力が得られ、開催地はもちろん近隣市町村からの参加者も大変多く、過去最高の参加者数であった。参加者からの評価も総じて高く、継続開催を望む声も多数寄せられている。



4-10 新潟県地域づくり見本市 in 下越・企画運営（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 2019（令和元）年 11月～令和 2年 3月

【実施概要】 新発田市にて「外部人材（大学生、協力隊、支援員等）との協働による地域づくり」をテーマに、受入れにより地域にどのような変化が生まれたかの事例を共有し、参加者同士での意見交換会を実施。

【実績】 開催日：令和 2年 2月 1日（土）13:30～16:30

会場：新発田市地域交流センター あおり館

参加者：87名



【所 見】 下越エリアの6事例を発表していただき、その後に意見交換を実施。開催時間に対して内容を盛り込みすぎた感があったものの、参加者の満足度は高く、大変有意義な交流会となった。

4-11 地域の見える化連続講座・企画運営 (委託事業:新潟県(地域政策課))

【実施期間】 2019(令和元)年7月~9月

【実施概要】 住民自治の進化を促す入口として有効な「地域の見える化」について、基礎的な考え方から実践テクニックを学ぶ講座の企画運営を担当。導入編(同一内容)を県内3会場で、実践編を1回(2日間プログラム)開催。

【実 績】 <導入編>

新潟開催　　日 時：令和元年7月1日(月) 13:30～16:30
会 場：新潟ユニゾンプラザ
参加者：36名

上越開催　　日 時：令和元年7月2日(火) 13:30～16:30
会 場：新潟県上越地域振興局
参加者：14名

十日町開催　日 時：令和元年7月3日(水) 13:30～16:30
会 場：十日町保健センター
参加者：42名

<実践編>

日 時：令和元年7月19日(金) 13:30～16:30
7月20日(土) 09:30～15:30
会 場：クロスパルにいがた
参加者：31名

【所 見】 講座開催にあたっては、導入編と実践編の2つに分けて開催したところ、全体で123名の参加が得られた。導入編的なプログラムは、着実に意識改革を促し、各市町村での具体的な動きにつながっている。本講座の受講をきっかけにして、県の他事業(合意形成促進事業など)を組み合わせて動き出している地域が複数見受けられ、“はじめの一歩”を踏み出すきっかけとしての役割を本講座は担ったといえる。



4-12 県民意識醸成活動(地域別集会)事業ワークショップ・企画運営業務(委託事業:新潟県(地域政策課))

【実施期間】 2019(令和元)年7月～2020(令和2)年1月

【実施概要】 人口減少が急激に進展している現状を認識し、これから地域づくり向けた意識・視点を再確認するために、行政職員・各種団体・住民組織関係者等を対象にした話し合いの場を2回シリーズで開催。

【実績】 第1回 人口データから読み解く村上市のこれまでとこれから

日 時：令和元年10月29日(火) 19:00～21:00

会 場：新潟県村上地域振興局

第2回 将来を見据えワガコトとして取り組むべきこと

日 時：令和元年11月26日(火) 19:00～21:00

会 場：新潟県村上地域振興局

※各回約60名が参加

【所見】 人口減少・少子高齢化については、各々が漠然と感じてはいたものの、数値によって将来見通しをリアルに実感・共有し、今後の地域づくりに向けて互いに意見交換する場が設けられたことは、大きな前進である。とりわけ、地域振興・福祉・消防・警察・商工業など、分野横断による研修会が実現できたことは、大変意義のあるものであった。



4-13 全国障害者芸術文化祭にいがた大会・コーディネート(委託事業:新潟県(文化振興課))

【実施期間】 2019(令和元)年7月～12月

【実施概要】 2019年(令和元)に新潟県で開催される「全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」について、以下の3事業のコーディネートを担当した。

①まちなかアートプロジェクト(0光年芸術展)下越座

②コラージュ作品づくりワークショップ

③障がい者アート作品を活かした商品開発(試作品の製作・展示)

【実績】 ①まちなかアートプロジェクト(0光年芸術展)下越座

(概要) 障害者アートを媒介として地域住民の障害に対する理解や共有を図る場を提供するとともに、障害者の自立した社会参加につながり共生社会づくりの機運を高めるための展示イベント。

(期間) 令和元年9月15日～令和元年11月30日

(内容) 村上・新発田エリアの公共施設・飲食店等20会場にて障害者アート

ト作品の展示・スライドショーの投影等を実施。

②コラージュ作品づくりワークショップ

(概要) 村上特別支援学校の生徒と一緒にコラージュ作品を制作するワークショップの開催。

(期間) 令和元年9月～令和元年10月

(内容) 計3回のワークショップを開催し、アート作品を完成させた。

③障がい者アート作品を活かした商品開発（試作品の製作・展示）

(概要) 既存の障がい者アート作品を活用した商品の試作品製作を実施。

(期間) 令和元年9月～令和元年11月

(内容) ●試作品の制作

→酒ラベル4種（大洋盛2種+どぶろく雲上2種）／
エコバッグ（2種）／ドリップコーヒーパッケージ（4種）

●試作品の酒ラベルを使用した実験販売

→道の駅朝日・物産会館内にて試作した酒ラベルを使用した商品を実験販売。

●展示会への出展

→9/14～10/14にビルボードプレイス（新潟市）にて開催された展示イベント「かかわる・ひろがる・つながる・障害とアートと社会」にて、製作した試作品を展示。



【成 果】 作品展示では、エリア内の20会場で障がい者アート作品の展示・スライドショーの投影を実施した。これまであまり身近ではなかった障害者アート作品を、多くの場所に展示し見てもらうことで、いかに身近なものかを多くの人に知って貰うと同時に、障害者の方の社会参加の第一歩となった。コラージュ作品づくりでは多様な個性による協働作品が完成し、障害者アートを活用した商品開発に向け、既存作品での試作品製作や、新たな素材を作るコラージュ作品づくりワークショップをとおして、今後本格的に商品化・販売していくためのアイデアを得ることができた。

【所 見】 本取り組みを一過性のイベントとして終わらせるのではなく、継続性のある

取り組みにしていくことが重要である。

そこで、障がい者アート作品を活かした商品開発プロジェクトを独自に立ち上げ、地元企業とコラボして継続性のある仕組み化（コミュニティビジネス化）をスタートさせた。事業実施にあたっては、（一財）新潟ろうきん福祉財団の助成事業「地域社会創造事業」より助成金を頂き、現在、継続して事業を実施している。

4-14 第6次白石市総合計画策定に向けた地域づくり会議・企画運営（委託事業：宮城県白石市）

【実施期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

【実施概要】 市内9地区で、地域住民による地域づくり会議を開催し、各地区の現状を踏まえた10年後の目指すべき将来像を「まちづくり宣言」として策定するための研修・話し合いの場の企画・運営を実施。（R2年度も継続中）

【実績】 各地区での研修・話し合いの場を計10回実施。新型コロナウイルスの影響で春先は開催延期となっていたが、現在は、ソーシャルディスタンスを十分に配慮しながら、各地で地域づくり会議を開催中。

【所見】 住民自治の進化を促すプロセスを取り入れて、総合計画・地区別計画の検討を進めているが、少しずつ主体的な地域づくり・住民自治の再構築の気運が高まり」はじめた。



4-15 地域学習支援（事業協力：村上中等教育学校）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～10月

【内容】 村上中等教育学校5年生（高校2年生に相当）の総合学習において、地域と連携した授業を実施したいという学校側の要望を受け、授業を企画・実施。



【実施概要】 各分野で地域を元気にする人たち6名に協力を依頼し、生徒自らがインタビューや取材を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるPR動画を作成する授業を全5回実施。

【所見】 一連の授業を通じて、生徒達の地域を見る目・見方が大きく変化した。今年度で6年目となったが、学校・地域側ともに大変好評であった。

4-16 村上市・関川村議会議員との意見交換会（自主事業）

【事業期間】 2019（令和元）年7月～2020（令和2）年1月

【実施概要】 両市村の議会議員に参加を呼びかけ、これからの村上地域の地域づくりに関する地域課題や今後必要となる支援の仕組みなどについて、ざっくばらんに意見交換を実施。

参加状況：村上市議会17名／関川村議会2名

都岐沙羅パートナーズセンター10名（理事＋事務局職員）

【所見】 意見交換会の冒頭、①まちづくり協議会・地域コミュニティに関わる近年の国の動向②地域おこし協力隊・集落支援員の取り組み状況③関係人口の取り組みなどについて、当センターより情報提供した後、ざっくばらんに意見交換を行った。

陳情・要望といった趣旨ではなく、あくまでもお互いに考えていることをざっくばらんに語り合うという場であったが、和気藹々とした雰囲気の中で濃密な意見交換ができ、大変有意義な機会となった。

参加された議員の方々からも大変好評であった。ぜひ定期開催を！という声もいただいたことから、次年度も開催を検討していきたい。



5. 商品開発・販路開拓支援

5-1 障がい者アートを活かした商品開発プロジェクト（新潟ろうきん福祉財団助成事業）

【事業期間】 2019（令和元）年12月～令和2年6月

【実施概要】 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会のコーディネート業務を通じて発掘された障がい者アートを、専門家がしっかりとデザインし、地元企業と協働で商品開発・販売を進めるビジネスモデルを構築することで、地域内に新たな資金循環を生み出すと共に、アートによって障がい者が収入を得られる仕組みをつくるプロジェクト。

【実績】 地元企業とのコラボによる商品開発に向けたアート作品カタログを作成。
※ R2.7以降も継続して事業を実施中。



【所見】 本事業に対しては、障がい者支援施設等から非常に高い期待が寄せられている。企業側からも好意的に受けとめられている手応えがある。資金循環を生み出すビジネスモデルの構想も浮かび、その実現に向けた試行錯誤・関係者協議を今後実施していく予定。

6. 情報受発信事業

6-1 インターネットによる情報発信（自主事業）

●ウェブページ (<http://www.tsukisara.org>)

訪問者数 : 979 件 (前年比▲ 3,448 件)
 ページビュー : 2,273 件 (〃 ▲ 7,773 件)
 ※モバイルアクセス 20% (〃 + 4 %)

●ブログ (つきさらの元気ななかまたち (<http://blog.canpan.info/tsukisara/>))

記事更新: 0 件 → 日常的な情報発信は facebook に切り替えたため

●SNS (facebook ページ)

ページへの「いいね！」数 943 人 (前年比+ 38 人)
 フォロー数 994 人

7. 講師派遣・視察受入

1) 視察受入 (4 件)

2019 年度の視察等の受入実績

	受入日	訪問者	人数	備考
1	R1/10/29	岩手県庁	6	ヒアリング
2	R1/10/30	金沢市市民活動サポートセンター	14	視察研修
3	R2/02/18	秋田市中央市民サービスセンター・長岡造形大学	7	ヒアリング
4	R2/02/18	兵庫県立大学	1	ヒアリング

2) 講師派遣 (57 件)

2019 年度の団体としての講師派遣実績

	派遣日	派遣内容	派遣者
1	R1/07/05	新潟県地域づくりサポートチーム（村上）・WS コーディネート	斎藤
2	R1/07/11	【東京都】大正大学地域創生学科・講義	斎藤
3	R1/07/11	神林老人クラブ研修・講師	能登谷
4	R1/07/18	【新潟市】新潟県地域づくり実践塾公開講座・講義	斎藤
5	R1/07/27	【神奈川県平塚市】地域づくり市民大学・講演	斎藤
6	R1/07/30	【小千谷市】真人地区住民アンケート報告会	斎藤
7	R1/07/31	【宮城県七ヶ宿町】七教研地域教育研究会・講演	斎藤
8	R1/08/05	山北小中学校職員研修・講演	斎藤
9	R1/08/05	【小千谷市】岩沢地区住民アンケート報告会	斎藤
10	R1/08/07	【宮城県川崎町】川崎町しごと連絡協議会・WS コーディネート	斎藤
11	R1/08/08	【宮城県登米市】協働によるまちづくり研修（職員研修）・講演	斎藤
12	R1/08/24	【三重県松阪市】みえのみらいづくり塾・講演	斎藤
13	R1/08/25	【宮城県白石市】小原未来塾・講師	斎藤
14	R1/08/30	【新潟市】NPO 法人まちづくり学校：住民アンケート研修・講師	斎藤
15	R1/08/31	【宮城県白石市】斎川笑アップ塾・講師	斎藤
16	R1/09/17	【小千谷市】東山地区住民アンケート報告会	斎藤
17	R1/09/23	【富山県南砺市】上平地域住民アンケート報告会	斎藤
18	R1/09/25	【新潟市】NPO 法人まちづくり学校：住民アンケート研修・講師	斎藤
19	R1/09/28	神林地区・関係人口 WS コーディネート	斎藤
20	R1/09/30	【大分県日田市】上津江振興協議会・WS コーディネート	斎藤
21	R1/10/02	【愛知県設楽町】職員研修・講師	斎藤
22	R1/10/07	【東京都】よい仕事おこしフェア・地域再生大賞パネルトーク	斎藤
23	R1/10/18	【長岡市】長岡定住自立圏市町村職員研修・講師	斎藤
24	R1/10/24-25	【千葉県幕張市】市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）講義	斎藤
25	R1/11/07	【大分県日田市】地域振興局担当職員研修・講師	斎藤
26	R1/11/12	【十日町市】中条飛渡地域協議会・講演	斎藤
27	R1/11/20	【山形県新庄市】御堀端地区 WS コーディネート	斎藤
28	R1/11/24	薦川集落座談会・コーディネート	斎藤
29	R1/11/27	あさひフトコンテスト審査員	鈴木
30	R1/11/28	【大分県日田市】天瀬振興協議会・講演	斎藤
31	R1/12/01	神林地区・関係人口 WS コーディネート	斎藤
32	R1/12/07	【宮城県白石市】斎川笑アップ塾・講師	斎藤
33	R1/12/08	【宮城県白石市】小原未来塾・講師	斎藤
34	R1/12/09	【山形県新庄市】区長ブロック研修（八向・萩野）・コーディネート	斎藤
35	R1/12/13	【山形県新庄市】区長ブロック研修（新庄・日新・明倫）・コーディネート	斎藤
36	R1/12/14	【秋田県横手市】横手市地域支えあいネットワーク市民集会・講演	斎藤
37	R1/12/15	薦川集落座談会・コーディネート	斎藤
38	R1/12/18	神林地区・関係人口 WS コーディネート	斎藤
39	R1/12/19	【富山県南砺市】プロジェクトマネージャー養成講座・講師	斎藤
40	R1/12/22	【秋田県横手市】浅舞の未来を語る座談会・講演	斎藤
41	R2/01/12	【宮城県仙台市】みやぎ地域支援塾・講師	斎藤
42	R2/01/18	【宮城県仙台市】地域活動団体交流会・講演	斎藤
43	R2/02/06	【宮城県白石市】白石市職員研修・講師	斎藤
44	R2/02/06	【宮城県白石市】小規模多機能自治リアルを語る会・パネラー	斎藤
45	R2/02/08	寺尾集落ワークショップ・講師	佐藤
46	R2/02/10	【長崎県佐世保市】佐世保市地域コミュニティ活性化シンポジウム・講演	斎藤
47	R2/02/13	ときわ会・岩船村上支部学校運営研修サークル・講演	斎藤
48	R2/02/14	【宮城県白石市】白石市議会議員研修・講演	斎藤

49	R2/02/15	【兵庫県明石市】ジチラボ plus・講演	斎藤
50	R2/02/18	【山形県新庄市】まち協研修会・講師	斎藤
51	R2/02/22	【宮城県白石市】斎川笑アップ塾・講師	斎藤
52	R2/02/23	【宮城県白石市】小原未来塾・講師	斎藤
53	R2/02/24	【長崎県五島市】市職員研修	斎藤
54	R2/02/24-25	【長崎県五島市】まちづくり協議会「ワガゴト化」研修（3地区）・講師	斎藤
55	R2/03/23	【オンライン】やまぐち県民活動支援センター講座・講師	斎藤
56	R2/03/28	【滋賀県近江八幡市】安土学区まちづくり協議会研修会・講師	斎藤
57	R2/06/26	【千葉県幕張市】市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）講義	斎藤



【講師派遣】神林地区関係人口創出に伴うワークショップ（R1.9.28／R1.12.1／R1.12.18）



【講師派遣】薦川集落座談会（R1.11.24／R1.12.15）

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：2019（令和元）年7月～2020（令和2）年6月

内 容：書籍委託販売を実施

実 績：なし

【NPO 法人の運営／会議出席等】

1. 理事・事務局の個人活動

1) 会議等への出席（32件）

※以下は、個人としての対応ではあるが、都岐沙羅パートナーズセンターの理事・事務局スタッフとして活動・出席したものである。

	出席日	内容	出席者
1	R1/07/08	村上中等教育学校・学校評議員会	斎藤
2	R1/08/09	あさひ互近所ささえ～る隊・会議	斎藤
3	R1/08/20	【新潟市】全国障害者芸術文化祭新潟大会・意見交換会	斎藤

4	R1/08/22	【新潟市】新潟ろうきん福祉財団：地域社会創造事業・二次審査会	斎藤
5	R1/09/09-10	【大阪府】いきがい・助け合いサミット	斎藤
6	R1/09/19	生活支援コーディネーター・移動支援研修会	斎藤
7	R1/09/20	【新潟市】新潟県地域づくり研究会	斎藤
8	R1/09/25	【新潟市】新潟ろうきん福祉財団：地域社会創造事業・助成金交付式	斎藤
9	R1/11/08-09	【島根県雲南市】小規模多機能自治支援者会議	斎藤
10	R1/11/11	あさひ互近所ささえ～る隊・会議	斎藤
11	R1/11/13	【長岡市】新潟県地域づくり研究会・出張サポートデスク	斎藤
12	R1/11/17	あさひ互近所ささえ～る隊・大須戸集落座談会	斎藤
13	R1/11/17	荒川中学校CS委員会	佐藤
14	R1/11/23	あさひ互近所ささえ～る隊・猿沢まち協出前講座	斎藤
15	R1/11/25	【小千谷市】新潟県地域づくり研究会	斎藤
16	R1/11/27	村上市環境基本計画等進捗管理委員会	村山
17	R1/11/29	【東京都】総務省RMO研究会	斎藤
18	R1/12/10	【新潟市】新潟県労働金庫・中間支援組織事務局長会議	斎藤
19	R1/12/26	あさひ互近所ささえ～る隊・檜原集落相談対応	斎藤
20	R2/01/11	あさひ互近所ささえ～る隊・大須戸集落新春講演会	斎藤
21	R2/01/21	【東京都】総務省RMO研究会	斎藤
22	R2/01/26	【静岡県静岡市】しづおか自治取組発表会	斎藤
23	R2/01/29	あさひ互近所ささえ～る隊・地域包括支援センター意見交換会	斎藤
24	R2/02/02	地域の子育て力育成事業取り組み報告会	渡辺
25	R2/02/04	【新潟市】あさひ互近所ささえ～る隊・移動支援に関する視察研修会	斎藤
26	R2/02/06	【宮城県白石市】小規模多機能自治推進ネットワーク東北ブロック会議	斎藤
27	R2/02/07	【新潟市】新潟県地域づくり支援者サミット	斎藤
28	R2/02/12	【石川県金沢市】総務省RMO研究会・地域別研修	斎藤
29	R2/02/16	荒川中学校CS委員会	佐藤
30	R2/02/17	あさひ互近所ささえ～る隊・一層二層合同研修会	斎藤
31	R2/02/18	村上中等教育学校・学校評議員会	斎藤
32	R2/02/19	【長岡市】県内中間支援組織・スタッフ研修	斎藤
33	R2/03/23	【新潟市】新潟県地域づくり研究会	斎藤
34	R3/03/25	あさひ互近所ささえ～る隊・会議	斎藤

※忠隆司・前理事長については確認できないため未掲載

2) 法人運営に関する活動

①理事会（11回開催）

- R01/07/25 第1回理事会（出席者6名/H30年度決算見込み・H31年度算見込み等）
- R01/08/27 第2回理事会（出席者6名・委任状出席1名/各種事業進捗状況報告等）
- R01/09/26 第3回理事会（出席者6名/各種事業進捗状況報告等）
- R01/10/21 第4回理事会（出席者5名/各種事業進捗状況報告等）
- R01/12/05 第5回理事会（出席者6名/各種事業進捗状況報告等）
- R02/01/24 第6回理事会（出席者9名/各種事業進捗状況報告等）
- R02/02/26 第7回理事会（出席者6名・委任状出席1名/各種事業進捗状況報告等）
- R02/04/01 第8回理事会（出席者8名/各種事業進捗状況報告等）
- R02/04/26 臨時理事会（出席者7名/理事長選任の件）
- R02/05/11 第9回理事会@ZOOM（出席者8名/各種事業進捗状況報告等）
- R02/06/24 第10回理事会@ZOOM（出席者8名/各種事業進捗状況報告等）

②三役会議：開催無し

③部 会：開催無し

監査報告書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事長 近 良平 様

私たちは、令和元年 7 月 1 日から令和 2 年 6 月 30 日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

2 監査意見

(1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。

(2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

令和 2 年 8 月 20 日

特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

監事

梅田 久子



監事

大滝 国吉



2019（令和元）年度

事業報告及び決算

【概要版】

私たちは、
地域内の財を集め、つなぎ、支えながら、
広がりのある「公」を創造することで、
持続可能な地域社会づくりに貢献します。

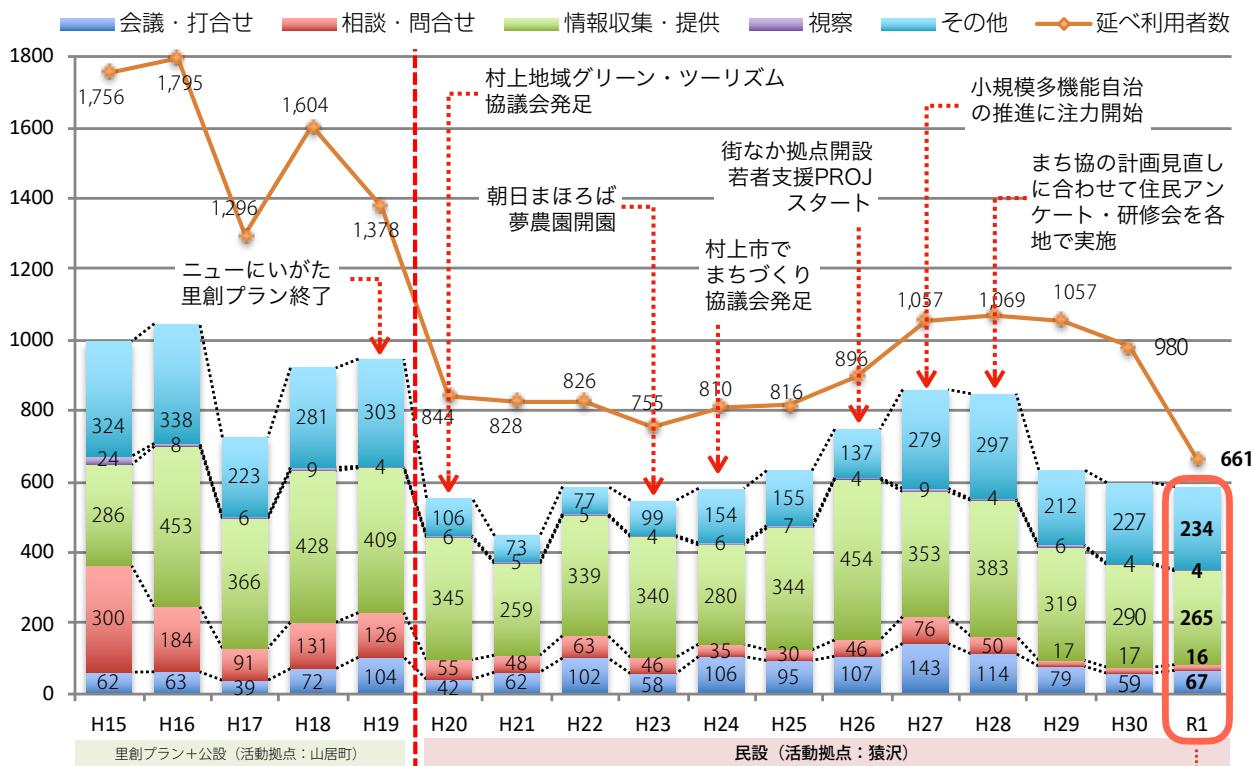


特定非営利活動法人
都岐沙羅パートナーズセンター
つ き さ ら
Iwafune,Niigata

1. 住民活動支援

①住民活動支援窓口の開設（自主事業）

利用件数：586件（前年比11件減）／利用者数：661人（前年比319人減）



「情報収集・提供」件数が減少 ⇔ インターネットによる情報収集・発信の普及・浸透による減少!?

1. 住民活動支援

②街なか拠点の運営協力（自主事業）

【利用団体数】増 + 【利用者数】減 = 少人数利用の増加

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用者数 (人)	817	1,874	1,875	1,887	1,723	1,140
利用団体数 (団体)	6	15	11	18	26	36
利用回数 (回)	67	130	119	130	180	139
利用目的別回数 コミュニティースペース	19	37	36	29	27	5
各種教室	12	22	29	27	84	42
イベント開催	7	36	34	37	46	48
会議	4	12	16	33	12	1
サークルでの活用	2	7	1	3	1	1
視察対応	2	0	2	1	0	0
その他	21	16	1	0	10	42

利用回数が減少した要因 → おしゃべりcafe終了 + コロナによる自粛が影響!?

1. 住民活動支援

③事務支援事業（自主事業）

●村上地域内で活動する市民団体の事務作業の代行を受託（1団体）

2. コミュニティビジネス支援

2019年度は実施せず

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

① 2組織の事務局を受託

- 村上地域グリーン・ツーリズム協議会
- 朝日まほろば夢農園管理組合



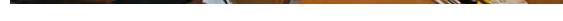
② 地域内外でのプロモーション活動

- 首都圏でのプロモーションイベント：5回
- 村上地域内での誘客イベント：1回



③ 研修会の開催

- 体験受け入れ研修：2回
- ツアー組み立て等研修：2回



3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

④ ツアー受入・交流人口の創出

- ツアー受入：5回 (うち1回はインバウンドツアー)
のべ受入者数：163人 (うちインバウンド10名)



- 朝日まほろば夢農園
のべ利用者数：536人 (前年比+94人増)
のべ交流イベント参加者数：76人 (前年比+1人)



【地域ツーリズム関連のR元年度実績】

事業を通じて生み出した交流人口
1,577人

<経年推移>

(H30) (H29) (H28) (H27) (H26) (H25)
1,952人 ← 1,752人 ← 1,479人 ← 1,458人 ← 1,245人 ← 1,300人

R1 H30 H29 H28 H27

※地域内外でのプロモーション活動 6回 ← 18回 ← 6回 ← 7回 ← 7回

※研修会の企画・参加 4回 ← 5回 ← 4回 ← 3回 ← 4回

※ツアー受入 5回 ← 4回 ← 4回



4. 地域づくり事業のコーディネート

①多様な主体が参加した交流機会の創出

- 学校と地域を結ぶオープンセッション（通算14回目）
- まちづくり円卓会議（自主事業／初開催）

【R1年度実績】	R1	H30	H29	H28	H27
開催回数	2回	←	1回	←	1回
参加者数	166人	←	129人	←	130人

← 2回 1回 1回 2回 3回
← 129人 130人 421人 285人



②農林業振興支援

- 青少年森林林業体験塾・企画運営

参加者数：10人（男性3名／女性7名）

※6年間でのべ81人が参加

うち、のべ16人が林業関連職種に就職（R1実績）

- 村上市いわふね林業塾・企画運営

参加者数：22人

※4年間でのべ127人が参加

4. 地域づくり事業のコーディネート

③まちづくり協議会・地域組織支援

- 活動分析レポート作成（村上市17組織）

- 住民アンケート実施サポート

集計・分析作業：2地区／731通

過年度実施の分析レポート概要版作成：2地区

- 研修会・話し合いの場等への講師派遣

【地域内】のべ派遣回数：11回／のべ参加者数：160人

▷関係人口WS（神林地区）／共助（朝日地区薦川） 等

【地域外】のべ派遣回数：6回／のべ参加者数：27人

▷新潟県・地域の合意形成促進事業（南魚沼市大倉／柏崎市高柳町山中）

- 研修会・交流会の企画運営

のべ12回開催／のべ参加者数：500人

▷新潟県・地域づくりセミナー ▷新潟県・地域づくり見本市 in 下越

▷新潟県・地域の見える化連続講座 ▷新潟県・地域づくり実践塾OJT研修

▷新潟県・県民意識醸成活動（地域別集会）



4. 地域づくり事業のコーディネート

④共助の仕組みづくり支援

●あさひ互近所ささえ～る隊コーディネート

- ▷朝日地区の第二層生活支援コーディネーターとして会議出席、出前講座及び座談会等のコーディネートを実施（のべ26回）



⑤障がい者アートイベント支援

●全国障害者芸術文化祭にいがた大会

- ▷まちなかアートプロジェクト（O 光年芸術展）下越座
- ▷村上特別支援学校におけるコラージュ作品づくりワークショップ
- ▷障がい者アート作品を活かした商品開発（試作品の製作・展示）

⑥計画策定支援

●関川村空き家対策計画策定に向けた調査支援

●第6次白石市総合計画策定に向けた地域づくり会議・企画運営

⑦学校の総合学習支援

●村上中等教育学校5年生への地域学習授業（5回）

4. 地域づくり事業のコーディネート

⑧議会との情報共有

●村上市・関川村議会議員との意見交換会



5. 商品開発・販路開拓支援

①障がい者アートのコミュニティビジネス化

●障がい者アートを活かした商品開発プロジェクト（継続中）

- ▷（一財）新潟ろうきん福祉財団「地域社会創造事業」助成事業
- ▷地元企業とコラボし、障がい者アートを活かした商品開発を進めると共に地域内で資金循環を生み出すビジネスモデルの構築を検討中



6. 情報受発信

●WEBページ ※括弧内は前年比

訪問者数 979 (3,448↓)
ページビュー 2,273 (7,773↓)
モバイルアクセス 20% (4%↑)

●SNS

Facebook : 943 いいね！ (38↑)
994フォロー

7. 講師派遣・視察受入・会議出席

●視察受入：4件（のべ28人）

●講師派遣：57件

地域内11件／県内8件／県外38件

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により12件が中止

●会議等への出席：32件



8. 物販

●地域づくりに関連する書籍の委託販売（販売実績なし）

2019（令和元）年度の総括

●機運醸成から具体的に行動を起こす段階に移行してきた。

- ・ 社会が大きく変化している状況を冷静に認識し、「将来への備え」という視点から地域づくりを進めようとする機運が、地域内はもちろん全国各地で高まってきた。
- ・ 地域・社会は、機運醸成の段階から、具体的なアクションを起こす段階に移行しつつある。この状況を踏まえ、次の一手を効果的に打てるよう、各所との連携・協働をさらに密にし、準備・行動していくことが必要である。

●交流の量は安定。次は高密化しての拡充へ。

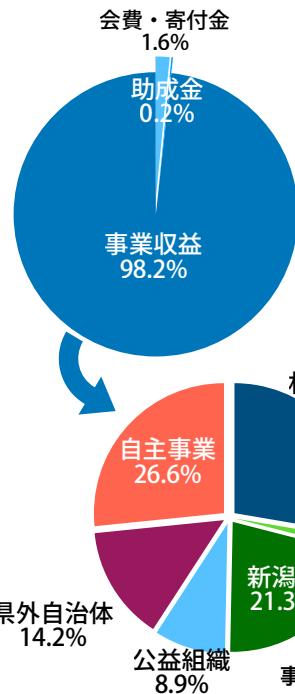
- ・ 地域外での継続的なプロモーション活動が、徐々に実を結びつつあり、安定して交流人口を生み出せる状況になってきた。ただし、新型コロナウイルスの影響で社会の状況は大きく変わり、ヒト・モノの交流・交易のあり方自体が、いま問われている。
- ・ 量的拡大から質的拡充へ。交流人口増から関係（人交）密度増へ。持続可能な営みとしていくためには、これがポイントになると思われる。

2019 (令和元) 年度決算

収入

経常収益：23,151,331円

前年比：1,042,759円△



支出

経常費用：22,439,691円

前年比：1,644,691円△

+771,818円

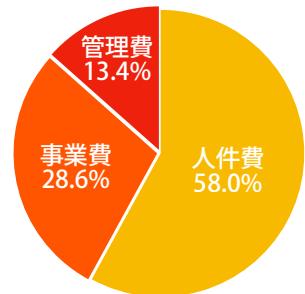
当期収支差額
(当期正味財産増減額)

+2,041,483円

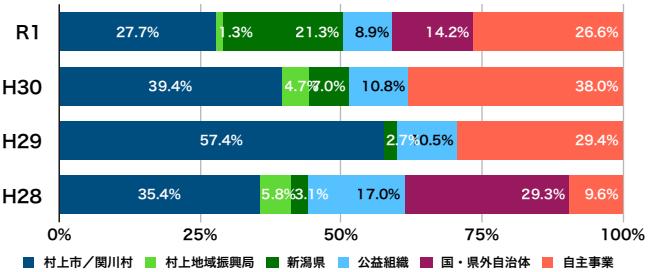
前期繰越金
(前期繰越正味財産額)

+2,753,301円

次期繰越金
(次期繰越正味財産額)



事業収益の内訳の推移 (直近4カ年)



2019 (令和元) 年度決算

収入の推移 (直近4カ年)

	H28	H29	H30	R1
会費・寄付金	425千円 (2.0%)	381千円 (1.6%)	378千円 (1.6%)	360千円 (1.6%)
助成金	795千円 (3.7%)	1,926千円 (8.2%)	590千円 (2.4%)	41千円 (0.2%)
事業収益	19,249千円 (89.7%)	21,153千円 (90.2%)	23,226千円 (96.0%)	22,744千円 (98.2%)
その他	1,000千円 (4.6%)	0千円 (0.0%)	0千円 (0.0%)	6千円 (0.0%)
計	21,469千円	23,460千円	24,194千円	23,151千円

支出の推移 (直近4カ年)

	H28	H29	H30	R1
人件費	11,392千円 (54.4%)	13,762千円 (59.9%)	14,637千円 (60.8%)	13,008千円 (58.0%)
(内常勤職員分)	6,556千円 (31.3%)	8,412千円 (36.6%)	8,437千円 (35.0%)	6,757千円 (30.1%)
(内事業スタッフ報酬)	4,836千円 (23.1%)	5,350千円 (23.3%)	6,200千円 (25.8%)	6,250千円 (27.9%)
事業費	6,926千円 (33.0%)	6,162千円 (26.8%)	6,632千円 (27.5%)	6,417千円 (28.6%)
管理費	2,648千円 (12.6%)	3,039千円 (13.2%)	2,815千円 (11.7%)	3,015千円 (13.4%)
計	20,966千円	22,963千円	24,084千円	22,440千円